



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

JOCオリンピック教室

開催実施要項
【自治体用】

2024年7月



公益財団法人 日本オリンピック委員会

「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和6年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

JOCオリンピック教室



オリンピック教室 実施概要(予定)

- 目的： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、
オリンピック自身の様々な経験を通して
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、
日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名： JOCオリンピック教室
- 主催： 公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)
- 後援： スポーツ庁
- 協力： 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象： 中学校2年生
- 講師： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）※派遣オリンピックはJOCが選定
- 期間： 2024年4月～2025年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数： 80校程度
- 実施方法： クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、
チームワーク、フェアプレー、身体を動かす
ことの楽しさ等を感じてもらいます。



2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、自身が感じた
オリンピックの価値を生徒に伝え、
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



1コマ目

運動の時間 / 50分

※実施校の時間割に準じて対応いたします。

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介
学習内容の確認



準備体操



主運動
(作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

2コマ目

座学の時間 / 50分

※実施校の時間割に準じて対応いたします。

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した自己紹介



オリンピック自身の経験に基づく「オリンピックの価値」等を伝える



個人またはグループワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です。

※内容はオリンピックによって変動する場合があります。

●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

授業実施風景(運動の時間)

①あいさつ → 学習内容の確認



②準備体操1



③準備体操2



④主運動の説明



⑤主運動1



⑥作戦タイム



⑦主運動2



⑧授業のまとめ → あいさつ



授業実施風景(座学の時間)

①あいさつ → 学習内容の確認



②オリンピックの自己紹介



③オリンピック自身の経験に基づきオリンピックの価値等を伝える → 生徒への発問



④個人またはグループワーク



⑤個人またはグループワーク発表



⑥授業のまとめ → あいさつ



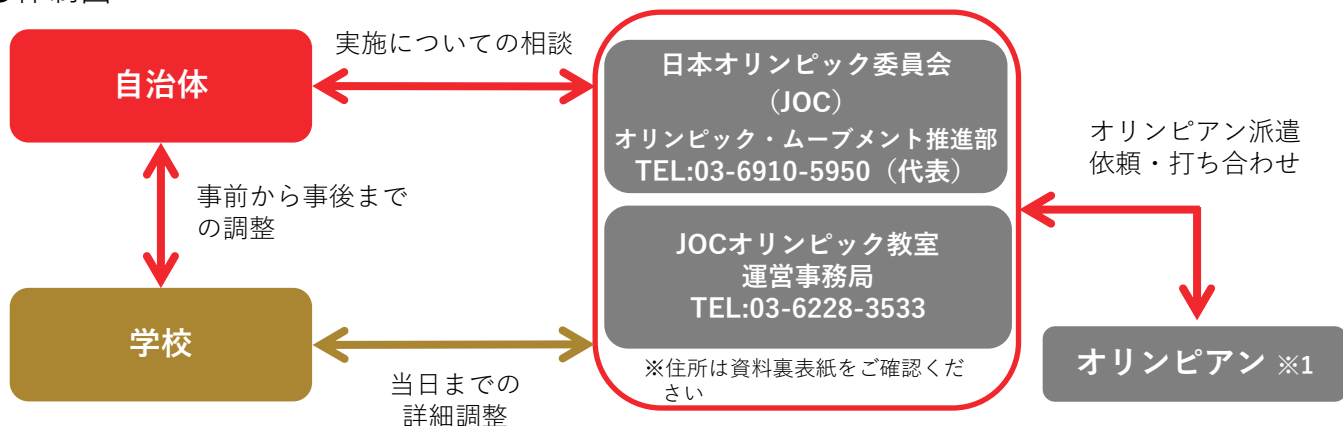
⑦記念撮影(クラス写真)



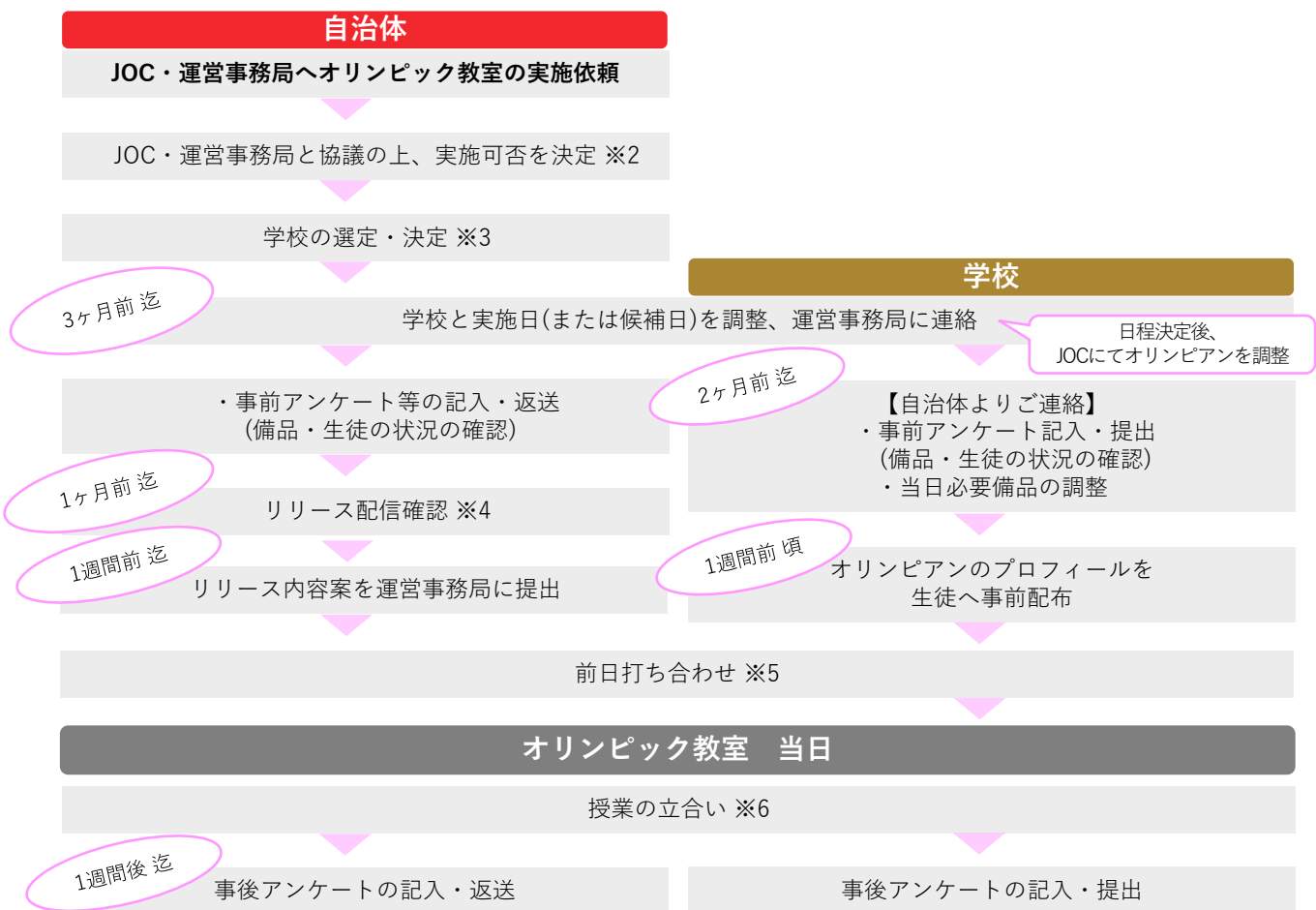
実施までの流れ(体制・手続き)

実施を希望される場合は、JOCまたは本事業運営事務局へお問い合わせください。
条件及び詳細について、ご案内いたします。

●体制図



●手続き



※1 急病や怪我等の都合により、実施日やオリンピックを変更する場合がありますので、予めご了承ください。

※2 予算については都度ご相談ください。(P.8「実施費用」参照)

※3 学校の選定方法は自治体によって異なります。不明点があれば本事業運営事務局までご相談ください。
学校への案内・決定の際、下記の基本条件について、学校へのご連絡をお願いします。

* 中学校2年生対象

* 2コマ連続実施(運動の時間[体育館] + 座学の時間[教室])

* クラスごと、男女共修での実施(2クラス以上の合同授業は、原則行っておりませんが、小規模校の場合は別途ご相談ください)

※4 リリースの配信について、自治体より学校へご確認ください。配信する場合は、配信予定日をお知らせください。
内容確認のため、配信の1週間前までに、本事業運営事務局までご連絡ください。(P.9「広報活動について」参照)

※5 前日打合せは、学校、自治体、JOC(運営事務局)の3者で実施いたします。通常、実施日の前日16時頃を予定していますが、都合により、別途打合せ日時を調整する場合があります。

※6 当日は取材調整を含め、必ず授業にお立ちください。

当日の流れ(体制・手続き)

●体制図



「オリンピック教室」ではチームティーチングを採用しています。
T1：オリンピック、T2：サポートスタッフ、の2名で進行します。
また補助として、担任の先生(または体育の先生等)にもご協力いただく場合があります。

●スケジュール ※1校2クラスの場合



※7 学校の立地により、電車でのアクセスが困難な場所もあるため、オリンピック及びJOC・運営事務局の送迎については自治体にてご協力ください。別途詳細について調整いたします。

開催前～開催後の流れ

実施までの主な調整内容や役割分担等について、ご確認ください。
 ※不明点や詳細については本事業運営事務局までお問合せください。

時期	自治体	JOC・運営事務局
開催 前年度 ～ 3ヶ月前迄		(自治体学校選定後)
	●実施に向けて <ul style="list-style-type: none"> 実施に向けて予算・内容の確認 学校の選定 	●実施に向けて <ul style="list-style-type: none"> 自治体用資料送付 <ul style="list-style-type: none"> ※本資料に基づき、概要についてご説明します 内容について自治体と調整・確認
開催 2ヶ月前 ～ 1ヶ月前迄		(自治体及び学校より各種書類受領後)
	●書類関連 <ul style="list-style-type: none"> 事前アンケート・学校図面の送付 <ul style="list-style-type: none"> ※学校担当者へ確認の上、データを運営事務局へお送りください。 ●運営関連 <ul style="list-style-type: none"> スケジュール・学校との調整状況・オリンピックの送迎等の確認 ●広報関連 <ul style="list-style-type: none"> 報道各社へのリリース配信 <ul style="list-style-type: none"> ※本資料P9「広報活動について」をご確認ください ※リリース配信が可能な場合、内容を事前に確認いたします。配信予定日の1週間前までに運営事務局へお送りください。 	●運営関連 <ul style="list-style-type: none"> スケジュール・学校との調整状況・オリンピックの送迎等の確認 運営事務局内部用運営マニュアル作成 <ul style="list-style-type: none"> ※スケジュール、学校図面等を取りまとめます ●オリンピック関連 <ul style="list-style-type: none"> オリンピック決定後、プロフィールシートを作成
開催 1週間前頃		(自治体及び学校より各種書類受領後)
	●運営関連 <ul style="list-style-type: none"> 運営事務局内部用運営マニュアルの共有 スケジュールの最終確認 ●広報関連 <ul style="list-style-type: none"> リリース配信内容について運営事務局へ提出 <ul style="list-style-type: none"> ※内容確認後の配信となります。 	●運営関連 <ul style="list-style-type: none"> 運営事務局内部用運営マニュアルの共有 スケジュールの最終確認
開催 前日 ～ 当日		
	●運営関連 <ul style="list-style-type: none"> 前日：16時頃より学校での打合せ・詳細確認 当日：オリンピックの送迎(対応可能な場合) <ul style="list-style-type: none"> 報道関係者の受け入れ・対応 	●運営関連 <ul style="list-style-type: none"> 前日：16時頃より学校での打合せ・詳細確認 当日：オリンピック教室運営
開催 1週間後頃		(1週間～1ヶ月後頃)
	●運営関連 <ul style="list-style-type: none"> 事後アンケート(学校用)の回収 事後アンケート(自治体用)の記入・返送 <ul style="list-style-type: none"> ※当日お渡しする指定のレターバックにて運営事務局に実施から1週間後迄に返送してください ●広報関連 <ul style="list-style-type: none"> ※報道各社の取材を受け入れた場合、後日新聞等に掲載された記事のコピーやニュース映像等を事後アンケートと一緒に運営事務局までお送りください 	●運営関連 <ul style="list-style-type: none"> 学校へ報告書用掲載写真の確認依頼 学校へ記念撮影シートを郵送 JOC公式サイトへのレポート掲載 <ul style="list-style-type: none"> (https://www.joc.or.jp/event/class.html) 掲載後、学校及び自治体に掲載先リンクをメールにて連絡

自治体及び学校の要望に応じて、授業に関する取材の受け入れが可能です。
リリースの配信や当日の受け入れについては、下記をご確認ください。

<事前準備>

- 取材の受け入れ及びプレスリリース等の配信を行う場合は、必ず事前に学校へご確認ください。
なお、生徒の肖像使用等に関しては、学校の規則を遵守してください。
 - リリース内容を事前に運営事務局にて内容を確認いたします。配信の1週間前までに運営事務局へお送りください。
 - その他下記内容を事前に運営事務局まで、メールまたは書面にてご連絡ください。
 - ①取材日時
 - ②媒体名(新聞、テレビ、雑誌等)
- ※最終的な取材実施可否については、運営事務局よりご連絡いたします。
- 取材申込者より車での来校希望があった場合には、学校と調整してください。

<当日>

- 当日の受け入れを含む報道関係者の対応は、自治体及び学校の責任にてご対応ください。
- 運動の時間は、授業に支障のない範囲であれば体育館壁際付近から自由に取材・撮影していただいて構いません。但しオリンピックと生徒の間を移動することはご遠慮ください。
- 座学の時間は、生徒及びオリンピックが授業に集中できる環境を保つため、動画撮影場所は教室後方出入口付近とし、授業冒頭(10分程度、その後、機材を廊下へ移動)のみとします。また、廊下や教室内を移動しての撮影はご遠慮ください。
- スタッフは指定の場所以外で撮影を行う場合がありますので、予めご了承ください。
- 通常授業時と同様の環境を保つため、運動・座学共にフラッシュを使用しての撮影はご遠慮ください。
- 生徒への取材依頼は学校と調整してください。オリンピックへの取材要望がある場合には、事前に運営事務局までご連絡ください。
- 本事業は、感染症等防止対策を講じて実施しておりますので、ご協力ください。

<実施後>

- 報道記事等について、当該資料(記事・映像等)のデータをメールまたは事後アンケートに同封の上、当該資料のコピーを運営事務局までお送りください。

參考資料

授業を終えて

<生徒>

タグラグビーを始めて知りました。今回の授業でオリンピックを身近に感じることができました。「諦めない大切さ」や「挑戦することの大切さ」「協力することの大切さ」を学びました。オリンピックの歴史を知ることができて良かったです。

実際に使っていたシューズを見て「すごいなあ」と思ったし、親近感が湧いた。オリンピックバリューが日常にもあることがわかった。東京2020大会について興味が持てた。

毎日学校にきていることなども頑張っていることに含めていいといわれ、自分は何も一生懸命になれることはないと思っていたが、考え方が変わった。



はじめは小さなきっかけでも、いま目の前にあることに集中して頑張っている姿がとてもかっこいいと思った。オリンピックなんて私には関係ないと思っていたけど、夢や目標に向かって頑張っているのは私も皆も一緒だから、とても身近に感じた。もう少しオリンピックにも目を向けてみたい。

体育館での運動の時間ではオリンピックを身近に感じることができた。教室では、将来に役立つ様々な知識を教えてください、今後役立てて行こうと思いました。

オリンピックの価値は身近なところにも繋がっていることを知ることができた。競技は違っても自分を信じる気持ちは大切だということを学ぶことができた。何事にも全力で努力してがんばって目標を掴んでいこうと思いました。

初めてオリンピック選手に会い、体育館での運動、教室での座学でたくさんのことを学ぶことができた。学んだ中で印象に残っているのは勝負の中で何度つまづいてもあきらめられないで挑戦しつづけることでした。この印象に残ったことを忘れないで、これからの部活動、勉強などに活かしていきたいなと思いました。

オリンピックは今までの積み重ねや一生懸命やるのが大切だと感じました。オリンピックに出場しないと分からないこと等も話してもらい、とてもためになりました。自分たちで考えたそれぞれの言葉を忘れないようにします。



<先生>

実体験を生徒たちに伝えていただいたことで、親への感謝の気持ち、くじけず頑張りを続けることの大切さ、凄さなど 沢山の思いを生徒達は持つことが出来たと思います。経験に基づいているので、とても心に響き、道徳の授業でも活用することができる内容でした。

心と体、両方へのアプローチ、すごく生徒の身体に入っていたと思う。夢があるから夢を叶える為、努力する。すると夢が現実になる。とっても心に響きました。



消極的な生徒が多く、大変だったかと思います。しかし反応が少ない、または自分のチームを応援していない生徒達に声掛けをして指導していただいたことはありがたかったです。運動すること、競い合う中で、考え行動することの大切さに気づかせてくれる授業だったと思います。そのような中で、反応が少ない生徒達に適切なアドバイスをしていただきました。これからの授業でもそのように対応していただけると学校側としてはありがたいと思います。

アメリカチームのソフトボールを思う気持ちから相手チームをリスペクトする姿勢、オリンピックに出られないとなったときの行動からあきらめない精神や支えられて生きていることを再認識させられました。わかりやすく心に響くお話でした。

<自治体関係者>

オリンピックの成功と挫折の体験からくる言葉は強い意志が感じられ、努力やあきらめない心が生徒に直に伝わると感じた。生徒のそれぞれの夢へ向かう姿勢にプラスの影響を与えようと思う。

オリンピックに出場することは、普通に人には出来ないことであり、その経験を話していただけただけでも素晴らしく、挫折の経験から学んだ努力の大切さを生徒に伝えていただき、仲間の大切さも教えてくれた。

実技では自然な形で生徒達の創意工夫により改善することをうながす流れが素晴らしいと感じました。また手本を示す際に先生ご自身が実際に動かれ、さすが一流アスリートというところを感じることができました。座学においてもご自身が中高生の頃に苦労された体験なども話していただき、生徒たちはより身近なものとして捉えることができたと思います。ハキハキとした話し方で、廊下で聞いていても内容が良くわかりました。

オリンピックの発信力・訴求力が高かったことから、生徒の関心・興味を呼び起こしていたと感じました。誰もができる運動内容を、生徒たちが作戦を立てながら、取り組むことを実践し、それをオリンピックが的確にアドバイスする等、非日常の感覚が味わえたのではないかと思います。

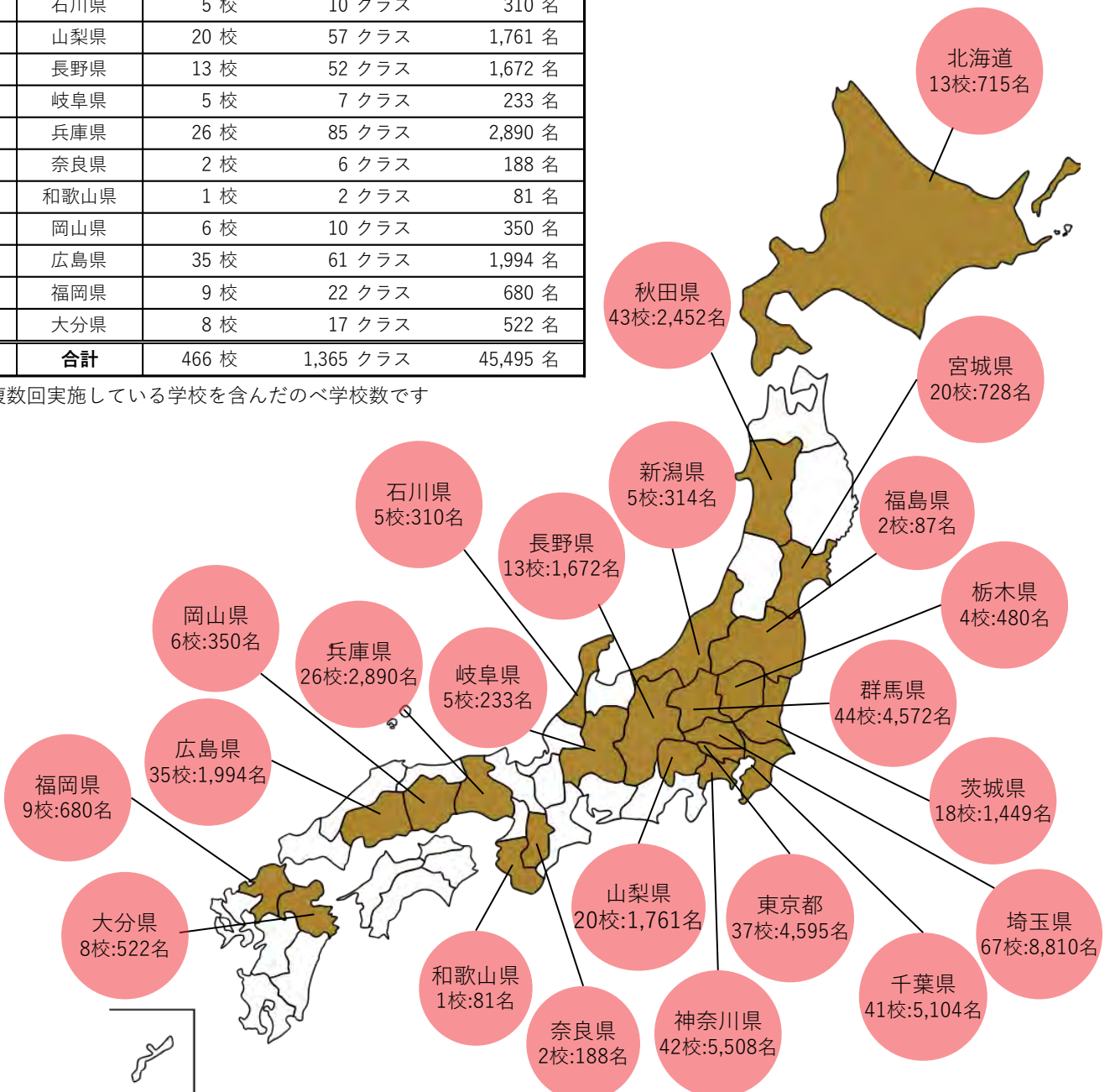
過去実施エリア

※2024年3月現在

【2011年度-2023年度 実施回数 学校数/クラス数/生徒数】

	都道府県	学校数/クラス数/生徒数		
1	北海道	13校	23クラス	715名
2	宮城県	20校	25クラス	728名
3	秋田県	43校	86クラス	2,452名
4	福島県	2校	3クラス	87名
5	茨城県	18校	46クラス	1,449名
6	栃木県	4校	14クラス	480名
7	群馬県	44校	145クラス	4,572名
8	埼玉県	67校	251クラス	8,810名
9	千葉県	41校	151クラス	5,104名
10	東京都	37校	131クラス	4,595名
11	神奈川県	42校	151クラス	5,508名
12	新潟県	5校	10クラス	314名
13	石川県	5校	10クラス	310名
14	山梨県	20校	57クラス	1,761名
15	長野県	13校	52クラス	1,672名
16	岐阜県	5校	7クラス	233名
17	兵庫県	26校	85クラス	2,890名
18	奈良県	2校	6クラス	188名
19	和歌山県	1校	2クラス	81名
20	岡山県	6校	10クラス	350名
21	広島県	35校	61クラス	1,994名
22	福岡県	9校	22クラス	680名
23	大分県	8校	17クラス	522名
	合計	466校	1,365クラス	45,495名

※複数回実施している学校を含んだのべ学校数です



過去実施学校

北海道 (5校)

札幌市	市立南が丘中学校(13)
士別市	市立士別南中学校(14,17,18,19)
	市立士別中学校(15,17,18,19)
	市立上士別中学校(16,19)
	市立多寄中学校(16,19)

宮城県 (14校)

仙台市	市立秋保中学校(19)
	市立根白石中学校(19)
	市立広陵中学校(21)
	市立生出中学校(22)
	市立愛宕中学校(22)
	市立茂庭台中学校(23)
気仙沼市	市立松岩中学校(22)
	市立面瀬中学校(22)
	市立津谷中学校(22)
	市立気仙沼中学校(23)
	市立唐桑中学校(23)
蔵王町	町立円田中学校(18,19,22)
	町立宮中学校(18,19,22)
	町立遠刈田中学校(18,19,22)

秋田県 (41校)

秋田市	市立下北手中学校(12)
	市立御野場中学校(17)
	県立秋田南高等学校中等部(19)
	市立城東中学校(22)
	市立河辺中学校(23)
能代市	市立能代東中学校(14)
横手市	市立横手北中学校(15)
大館市	市立比内中学校(15)
	県立大館国際情報学院中学校(19)
男鹿市	市立男鹿北中学校(16)
	市立男鹿東中学校(19)
湯沢市	市立皆瀬中学校(16)
	市立山田中学校(16)
	市立湯沢南中学校(23)
鹿角市	市立尾去沢中学校(13)
	市立十和田中学校(19)
	市立花輪第二中学校(19)
由利本荘市	市立東由利中学校(14)
	市立由利中学校(14)
	市立大内中学校(18)
	市立岩城中学校(23)
潟上市	市立天王中学校(16)
	市立羽城中学校(23)
大仙市	市立協和中学校(13)
	市立大曲西中学校(14)
	市立平和中学校(14)
北秋田市	市立合川中学校(16,22)
	市立阿仁中学校(22)

北秋田市	市立森吉中学校(22)
にかほ市	市立仁賀保中学校(17,22)
仙北市	市立神代中学校(15)
	市立榎木内中学校(15)
小坂町	町立小坂中学校(13)
上小阿仁村	村立上子阿仁中学校(18)
藤里町	町立藤里中学校(17)
三種町	町立琴丘中学校(14)
五城目町	町立五城目第一中学校(15)
八郎潟町	町立八郎潟中学校(18)
井川町	町立井川中学校(13)
大潟村	村立大潟中学校(18)
羽後町	町立羽後中学校(18)

福島県 (2校)

いわき市	市立勿来第二中学校(21)
喜多方市	市立第三中学校(22)

茨城県 (10校)

常総市	市立水海道中学校(12)
つくば市	市立筑波東中学校(12)
	市立吾妻中学校(12,13)
	市立手代木中学校(12,13)
潮来市	市立潮来第一中学校(19,21,23)
	市立牛堀中学校(19,21,23)
	市立日の出中学校(20,22)
	市立潮来第二中学校(20,22)
常陸大宮市	市立山方中学校(19)
	市立大宮中学校(23)

栃木県 (4校)

宇都宮市	宇都宮東高等学校附属中学校(20)
栃木市	市立皆川中学校(20)
鹿沼市	市立東中学校(21)
下野市	市立南河内中学校(21)

※2024年3月現在

※市区町村の総務省自治体市町村コード順、市区町村以降は実施年度順
※ () 内は実施年度の西暦下2桁を記載

過去実施学校

群馬県 (17校)

高崎市	市立吉井西中学校 (15,16,17,18,19,20,21,23) 市立入野中学校(15,16,17,18,19,20) 市立箕郷中学校(16,23) 市立寺尾中学校(17,18,19,20,21,22,23) 市立八幡中学校(17,18,19) 市立大類中学校(18,19,23) 市立群馬南中学校(19) 市立高南中学校(20) 市立並榎中学校(21,22,23) 市立群馬中央中学校(22) 市立佐野中学校(22,23)	越谷市 入間市 朝霞市	市立西中学校(18) 市立東町中学校(20) 市立朝霞第四中学校(17) 市立朝霞第一中学校(18) 市立朝霞第五中学校(18) 市立朝霞第二中学校(19) 市立朝霞第三中学校(19)
太田市	市立太田中学校(15) 市立旭中学校(16,23) 市立強戸中学校(17) 市立木崎中学校(18) 市立東中学校(19) 市立西中学校(22)	新座市 久喜市 三郷市	市立新座中学校(18) 栗橋西中学校(19) 市立北中学校(12,13,14,15,17,23) 市立彦成中学校(16,19) 市立栄中学校(16,18) 市立瑞穂中学校(16,20) 市立早稲田中学校(17,19) 市立南中学校(18,22) 市立前川中学校(18) 市立彦糸中学校(17,20)

埼玉県 (54校)

川越市	市立山田中学校(12,19) 市立霞ヶ関西中学校(15) 市立霞ヶ関東中学校(16) 市立川越西中学校(16) 市立大東西中学校(17) 市立野田中学校(17) 市立霞ヶ関中学校(18) 市立富士見中学校(18,19) 市立鯨井中学校(18) 市立芳野中学校(19) 市立東中学校(19) 市立寺尾中学校(19) 市立福原中学校(22) 市立高階中学校(22) 市立南古谷中学校(23) 市立初雁中学校(23)	鶴ヶ島市	市立鶴ヶ島中学校(19) 市立南中学校(19) 市立西中学校(19)
川口市	市立在家中学校(12)	白岡市	市立篠津中学校(21)
飯能市	市立美杉台中学校(19)	小川町	町立東中学校(17)
加須市	市立加須東中学校(21)	川島町	町立西中学校(19)
東松山市	市立東中学校(19)		
春日部市	市立谷原中学校(18)		
狭山市	市立狭山台中学校(18) 市立入間川中学校(18) 市立入間野中学校(18) 市立西中学校(19) 市立堀兼中学校(19) 市立中央中学校(19) 市立山王中学校(19)		
鴻巣市	市立吹上中学校(18)		
深谷市	市立南中学校(21)		
上尾市	市立南中学校(18)		

※2024年3月現在

※市区町村の総務省自治体市町村コード順、市区町村以降は実施年度順
※ () 内は実施年度の西暦下2桁を記載

過去実施学校

千葉県 (41校)

千葉市	市立磯辺中学校(16)
	市立轟町中学校(17)
	市立大椎中学校(18)
	市立花見川中学校(19)
	市立幸町第二中学校(21)
	市立松ヶ丘中学校(22)
	市立高洲中学校(23)
銚子市	市立第三中学校(16)
	市立第五中学校(19)
船橋市	市立海神中学校(15)
	市立高根中学校(19)
	市立湊中学校(23)
木更津市	市立木更津第三中学校(17)
松戸市	市立新松戸南中学校(21)
野田市	市立木間ヶ瀬中学校(17)
	市立第二中学校(23)
茂原市	市立茂原中学校(16)
	市立南中学校(23)
佐倉市	市立根郷中学校(18)
東金市	市立東中学校(18)
習志野市	市立第一中学校(18)
	市立第六中学校(22)
柏市	市立土中学校(16)
	市立南部中学校(22)
市原市	市立国分寺台西中学校(16)
	市立ちはら台西中学校(19)
	市立辰巳台中学校(22)
流山市	市立常盤松中学校(18)
八千代市	市立村上中学校(17)
我孫子市	市立湖北台中学校(19)
君津市	市立周東中学校(20)
富津市	市立天羽中学校(23)
浦安市	市立浦安中学校(16)
八街市	市立八街中学校(21)
南房総市	市立富山中学校(18)
香取市	市立佐原第五中学校(17)
いすみ市	市立大原中学校(17)
栄町	町立栄中学校(23)
東庄町	町立東庄中学校(22)
長生村	村立長生中学校(19)
大多喜町	町立大多喜中学校(22)

東京都 (26校)

千代田区	区立麹町中学校(12)
品川区	区立中高一貫校 伊藤学園(12)
渋谷区	区立広尾中学校(23)
中野区	区立中野中学校(12)
北区	区立稲付中学校(11~19,22)
	区立赤羽岩淵中学校(20,23)
	区立田端中学校(21,23)
	区立飛鳥中学校(22)
	区立桐ヶ丘中学校(22)
	区立浮間中学校(22)
	区立堀船中学校(23)
	区立十条富士見中学校(23)
板橋区	区立板橋第二中学校(15)
	区立志村第一中学校(16)
	区立志村第四中学校(17)
	区立向原中学校(17)
	区立高島第一中学校(22)
	区立高島第二中学校(18)
	区立上板橋第一中学校(18)
	区立志村第五中学校(19)
	区立上板橋第二中学校(19)
	区立赤塚第三中学校(20)
	区立板橋第三中学校(21)
	区立桜川中学校(22)
	区立板橋第五中学校(23)
	区立赤塚第一中学校(23)

※2024年3月現在

※市区町村の総務省自治体市町村コード順、市区町村以降は実施年度順

※ () 内は実施年度の西暦下2桁を記載

過去実施学校

神奈川県 (33校)

横浜市	横浜国立大学教育学部附属横浜中学校 (旧:横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校)(11~19) 市立義務教育学校 西金沢学園中学部 (旧:横浜市立西金沢中学校)(13,17) 市立西中学校(14) 市立中川西中学校(15) 市立西柴中学校(16) 市立奈良中学校(17) 市立浦島丘中学校(18) 市立東永谷中学校(18) 市立横浜吉田中学校(19) 市立本郷中学校(21) 市立洋光台第二中学校(22) 市立希望が丘中学校(23)
川崎市	市立柿生中学校(16) 市立田島中学校(17) 市立京町中学校(17) 市立玉川中学校(18) 市立高津中学校(18) 市立南菅中学校(19) 市立犬蔵中学校(19) 市立南加瀬中学校(20)
相模原市	県立相模原中等教育学校(17)
平塚市	県立平塚中等教育学校(17)
葉山町	町立葉山中学校(18) 町立南郷中学校(22)
寒川町	町立寒川中学校(20)
大磯町	町立大磯中学校(23)
二宮町	町立二宮西中学校(19)
中井町	町立中井中学校(22)
山北町	町立山北中学校(18)
箱根町	町立箱根中学校(19)
愛川町	町立愛川中原中学校(20) 町立愛川中学校(23)
清川村	村立緑中学校(21)

新潟県 (5校)

新潟市	市立大江山中学校(15) 市立白新中学校(16) 市立新潟柳都中学校(17) 市立濁川中学校(18) 市立中之口中学校(19)
-----	---

石川県 (5校)

金沢市	市立犀生中学校(22)
輪島市	市立門前中学校(19) 市立輪島中学校(22)
かほく市	市立宇ノ気中学校(23)
白山市	市立白嶺中学校(23)

山梨県 (9校)

富士吉田市	市立明見中学校(16,19,22,23) 市立富士見台中学校(17,19,22,23) 市立下吉田中学校(17,22,23) 市立吉田中学校(18,22,23)
道志村	村立道志中学校(17)
西桂町	町立西桂中学校(17,19)
忍野村	村立忍野中学校(18)
山中湖村	村立山中湖中学校(18)
富士河口湖町	組合立河口湖南中学校(19)

長野県 (13校)

長野市	市立豊野中学校(13) 市立西部中学校(14) 市立若穂中学校(15) 市立戸隠中学校(16) 市立鬼無里中学校(16) 市立三陽中学校(17) 市立松代中学校(18) 市立更北中学校(19) 市立広徳中学校(20) 市立北部中学校(21) 市立犀陵中学校(22) 市立篠ノ井東中学校(23)
下諏訪町	町立下諏訪社中学校(17)

岐阜県 (5校)

下呂市	市立萩原南中学校(19) 市立金山中学校(20) 市立下呂中学校(21) 市立竹原中学校(22) 市立小坂中学校(23)
-----	--

※2024年3月現在

※市区町村の総務省自治体市町村コード順、市区町村以降は実施年度順

※ () 内は実施年度の西暦下2桁を記載

過去実施学校

兵庫県 (21校)

神戸市	市立吉田中学校(13,15)
	市立星和台中学校(14)
	市立小部中学校(15)
	市立広陵中学校(15,21,22)
	市立飛松中学校(16)
	市立淡河中学校(16)
	市立多聞東中学校(16)
	市立太田中学校(17)
	市立塩屋中学校(17)
	市立横尾中学校(18)
	市立桜の宮中学校(18)
	市立大原中学校(18)
	市立神戸生田中学校(18)
	市立御影中学校(19)
	市立大沢中学校(19,21,22)
	市立玉津中学校(19)
	市立王塚台中学校(22)
	市立高取台中学校(22)
	市立桜の宮中学校分校(22)
	市立唐櫃中学校(22)
	市立筒井台中学校(22)

奈良県 (2校)

奈良市	市立平城西中学校(19)
	市立平城中学校(19)

和歌山県 (1校)

和歌山市	県立向陽中学校(23)
------	-------------

岡山県 (5校)

岡山市	市立岡山後楽館中学校(22)
	市立光南台中学校(22,23)
	市立山南学園(22)
	市立興除中学校(23)
	市立足守中学校(23)

広島県 (23校)

尾道市	市立栗原中学校(13)
	市立因来中学校(13)
福山市	市立内海中学校(16,18,19,20)
	市立福山中学校(17)
	市立城西中学校(18,23)
	私立英数学館中学校(18,22)
	私立盈進中学校(18)
	近畿大学附属広島中学校 福山校(19)
	市立加茂中学校(19,20,22)
	市立精華中学校(20,21,22)
	市立広瀬学園中学校 (旧：市立広瀬中学校)(21,22,23)
	市立鳳中学校(21)
	市立鞆の浦学園(22)
	市立松永中学校(22,23)
	市立至誠中学校(23)
府中市	市立府中明郷中学校(16)
三次市	市立三良坂中学校(15)
庄原市	市立高野中学校(15)
東広島市	市立豊栄中学校(14)
	市立磯松中学校(17)
江田島市	市立江田島中学校(14)
	市立大柿中学校(14)
坂町	町立坂中学校(14)

※2024年3月現在

※市区町村の総務省自治体市町村コード順、市区町村以降は実施年度順

※ () 内は実施年度の西暦下2桁を記載

過去実施学校

福岡県（9校）

北九州市 市立熊西中学校(18)
大牟田市 市立橘中学校(21)
市立歴木中学校(22)
久留米市 市立屏水中学校(19)
田川市 市立後藤寺中学校(17)
行橋市 市立仲津中学校(13)
市立今元中学校(16)
宗像市 市立玄海中学校(15)
朝倉市 市立南陵中学校(14)

大分県（7校）

中津市 市立耶馬溪中学校(15)
市立本耶馬溪中学校(15,23)
市立今津中学校(16)
市立東中津中学校(16)
市立豊陽中学校(17)
市立中津中学校(18)
市立城北中学校(19)

【実施自治体】

士別市、仙台市、気仙沼市、蔵王町、秋田県、福島県、喜多方市、潮来市、常陸大宮市、栃木県、栃木市、鹿沼市、下野市、高崎市、太田市、埼玉県、川越市、狭山市、朝霞市、新座市、三郷市、鶴ヶ島市、千葉県、渋谷区、北区、板橋区、神奈川県、横浜市、川崎市、新潟市、石川県、輪島市、富士吉田市、西桂町、長野市、下諏訪町、下呂市、神戸市、奈良市、和歌山県、岡山市、広島県、福山市、東広島市、福岡県、大牟田市、中津市

計 47自治体

【参考：JOCパートナー都市】

大阪市、長野市、福岡県、福岡市、広島市、熊本県、熊本市、東京都、北海道、札幌市、横浜市、広島県、兵庫県、神戸市、帯広市、秋田県、秋田市、川崎市、高崎市、千葉県、太田市、福山市、北九州市、加賀市、神奈川県、埼玉県、士別市、板橋区、北区、富士吉田市、三郷市、石川県、岡山市、和歌山県、渋谷区
※JOCパートナー都市協定締結日順

計 35都市

※2024年3月現在

※市区町村の総務省自治体市町村コード順、市区町村以降は実施年度順

※ () 内は実施年度の西暦下2桁を記載

陸上競技



えとう たかし
衛藤 昂



えりぐち まさし
江里口 匡史



おおた ようこ
太田 陽子



おにし みさき
尾西 美咲



かつき はやと
勝木 隼人



くぼくら さとみ
久保倉 里美



こばやし ゆりこ
小林 祐梨子



こみなみ たくと
小南 拓人



さとう みつひろ
佐藤 光浩



さわの だいち
澤野 大地



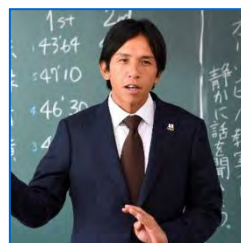
たかはし ももこ
高橋 萌木子



たかひら しんじ
高平 慎士



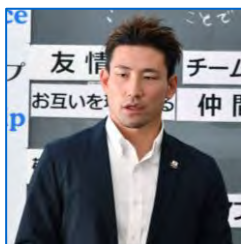
たなか
田中 めぐみ



たばた けんじ
田端 健児



ちば まさこ
千葉 真子



つかはら なおき
塚原 直貴



なかの ひろゆき
中野 弘幸



のむら ともひろ
野村 智宏



はせがわ だいご
長谷川 大悟



むろふし ゆか
室伏 由佳

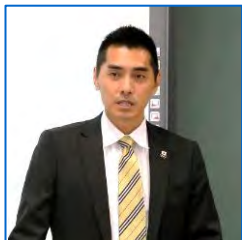


よしかわ みか
吉川 美香

■水泳 ・競泳



いしばし ちあき
石橋 千彰



いとう しゅんすけ
伊藤 俊介



いとう はなえ
伊藤 華英



いわさき きょうこ
岩崎 恭子



うちだ しょう
内田 翔



かしま ひとみ
鹿島 瞳



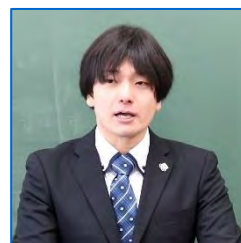
かとう いずみ
加藤 和



かとう ゆか
加藤 ゆか



さとう ひさよし
佐藤 久佳



しばた りゅういち
柴田 隆一



たじま やすこ
田島 寧子



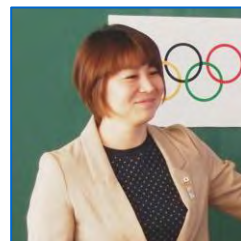
てらむら みほ
寺村 美穂



なかお みき
中尾 美樹



なかにし ゆうこ
中西 悠子



なかむら まい
中村 真衣



なかむら れいこ
中村 礼子



はぎわら ともこ
萩原 智子



ほし なつみ
星 奈津美



まつしま みな
松島 美菜



まつもと やよい
松本 弥生



みなもと すみか
源 純夏



みやした じゅんいち
宮下 純一



みやし ともひろ
三好 智弘



やまくち みさき
山口 美咲



やまだ さちこ
山田 沙知子

・飛込



なかがわ まい
中川 真依

・シンクロナイズドスイミング(※現:アーティスティックスイミング)



あだち ゆみ
足立 夢実



いしぐる ゆみこ
石黒 由美子



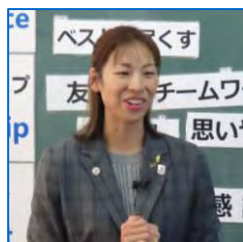
こたに みかこ
小谷 実可子



たちばな まさこ
橋 雅子



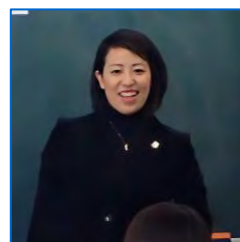
なかむら まい
中村 麻衣



はこやま あいか
箱山 愛香



ふじまる みちよ
藤丸 真世



まつむら あやこ
松村 亜矢子



みつい りさこ
三井 梨紗子

■サッカー



かいほり
海堀 あゆみ



さかい ともゆき
酒井 友之



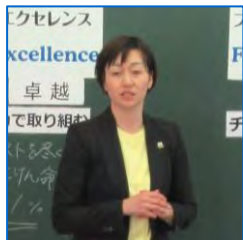
まつばら よしか
松原 良香

■テニス



まつおか しゅうぞう
松岡 修造

■ボート(※現:ローイング)



いわもと あきこ
岩本 亜希子



なかの ひろし
中野 紘志



はせ ひとし
長谷 等

■ホッケー



おの まゆみ
小野 真由美

■ボクシング



すさ かつあき
須佐 勝明

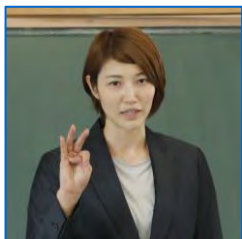
■バレーボール
・バレーボール



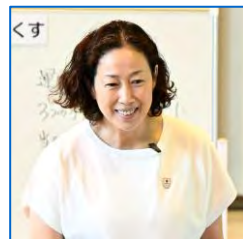
おおばやし もとこ
大林 素子



おおやま かな
大山 加奈



かのう まいこ
狩野 舞子



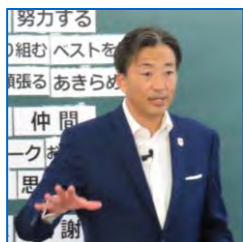
さかもと きよみ
坂本 清美



さくらい ゆか
櫻井 由香



たじみ あさこ
多治見 麻子

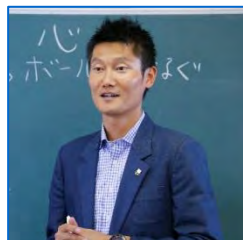


みなみ かつゆき
南 克幸

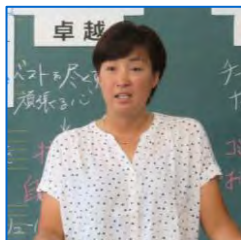


やまもと たかひろ
山本 隆弘

・バレーボールおよびビーチバレーボール



あさひ けんたろう
朝日 健太郎



さいき みか
佐伯 美香

■体操 ・体操競技



おおかわ ますみ
大川 真澄



かしま たけひろ
鹿島 丈博



たなか かずひと
田中 和仁



たなか ひかる
田中 光

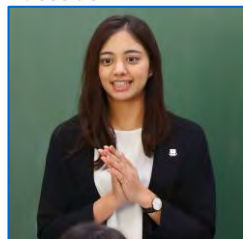


なかの だいすけ
中野 大輔



よねだ いさお
米田 功

・新体操



よこた にな
サイド横田 仁奈



たなか ことの
田中 琴乃



つばい ほなみ
坪井 保菜美



まつばら りえ
松原 梨恵

・トランポリン

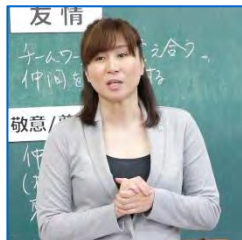


うえやま やすひろ
上山 容弘

■バスケットボール



おかざと あけみ
岡里 明美



くすだ かおり
楠田 香穂里



ながた むつこ
永田 睦子



はまぐち のりこ
濱口 典子



むらかみ ちかこ
村上 睦子



やしろ なおみ
矢代 直美

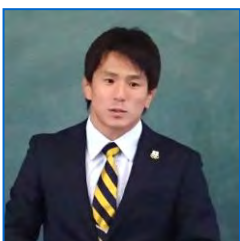
■レスリング



いけまつ かずひこ
池松 和彦



いのうえ ともひろ
井上 智裕



ゆもと けんいち
湯元 健一



ゆもと しんいち
湯元 進一

■セーリング



いせだ めぐみ
伊勢田 愛



こすげ やすこ
小菅 寧子

■ウェイトリフティング



さいとう りか
齋藤 里香



たがしら こうき
田頭 弘毅

■自転車

・トラック



ながつか ともひろ
長塚 智広

・ロード



おき みほ
沖 美穂



みやざわ たかし
宮澤 崇史

・BMX(レーシング)



さかもと あきふみ
阪本 章史

■卓球



ひらの さやか
平野 早矢香



まつした こうじ
松下 浩二

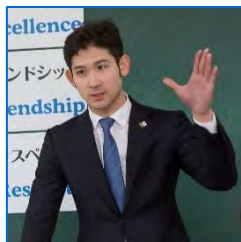
■フェンシング



あわじ すぐる
淡路 卓



ちだ けんた
千田 健太



みやけ りょう
三宅 諒

柔道



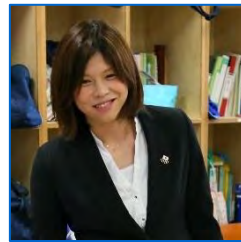
たちもと はるか
田知本 遙



たなべ ようこ
田辺 陽子



たにもと あゆみ
谷本 歩実



ふくみ ともこ
福見 友子



みぞぐち のりこ
溝口 紀子



やまべ かなえ
山部 佳苗

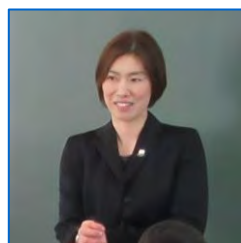
バドミントン



いけだ しんたろう
池田 信太郎



ひろせ えりこ
廣瀬 栄理子



やまもと しずか
山本 静香



よねくら かなこ
米倉 加奈子

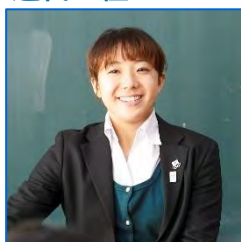
射撃

・ライフル射撃



きだ ともひろ
木田 知宏

近代五種



くろす なるみ
黒須 成美



むらかみ よしひろ
村上 佳宏

■ラグビーフットボール



おおくろだ ゆめ
大黒田 裕芽



かねまつ ゆか
兼松 由香



くわい あの
桑井 亜乃



さかい かつゆき
坂井 克行



すずき あやか
鈴木 彩香



たにぐち のりこ
谷口 令子



とよしま しょうへい
豊島 翔平



なかむら ちはる
中村 知春

■カヌー
・スラローム



かいふち もえ
海淵 萌

・スプリント



すずき ゆみこ
鈴木 祐美子

■トライアスロン



うえだ あい
上田 藍



かとう ゆりえ
加藤 友里恵

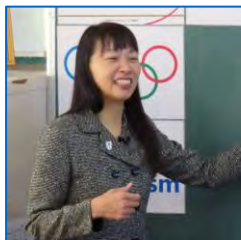


にしうち ひろゆき
西内 洋行



ほそだ ゆういち
細田 雄一

テコンドー



おかもと よりこ
岡本 依子

ソフトボール



あつみ まな
渥美 万奈



まぶち さとこ
馬淵 智子



みしな ますみ
三科 真澄



みね ゆきよ
峰 幸代

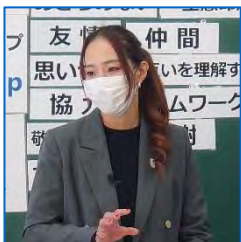


やまざき さき
山崎 早紀



やまだ えり
山田 恵里

スポーツライティング



のぐち あきよ
野口 啓代

■ スキー

・ アルペン



ほし みづえ
星 瑞枝

・ クロスカントリー



なつみ まどか
夏見 円

・ ジャンプ



やまだ ゆりな
山田 優梨菜

・ ノルディック複合



あべ まさし
阿部 雅司

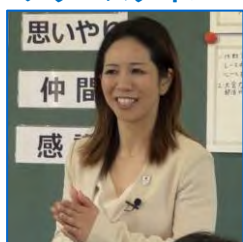


おぎわら けんじ
荻原 健司



おぎわら つぎはる
荻原 次晴

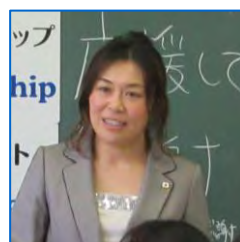
・ フリースタイル



うめはら れいな
梅原 玲奈



たかお ちほ
高尾 千穂



はたなか みゆき
畑中 みゆき

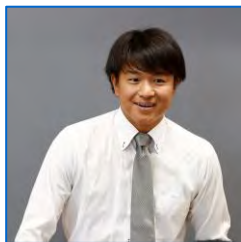


へんみ かよ
逸見 佳代

・スノーボード



つるおか けんたろう
鶴岡 剣太郎



のふじ ゆうき
野藤 優貴



ふしみ ちかこ
伏見 知何子



やまおか そうこ
山岡 聡子

■スケート

・スピードスケート



いしの えりこ
石野 枝里子



おばら ゆり
小原 悠里



くろいわ としゆき
黒岩 敏幸



さんみや えりこ
三宮 恵利子



しんや しほみ
新谷 志保美

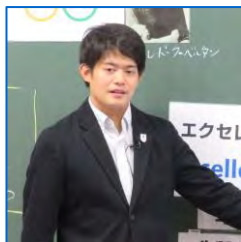


すずき やすし
鈴木 靖



でじま しげゆき
出島 茂幸

・フィギュアスケート



こづか たかひこ
小塚 崇彦



たかはし なるみ
高橋 成美

・ショートトラック



かわさき つとむ
川崎 努



てしがわら いくえ
勅使川原 郁恵

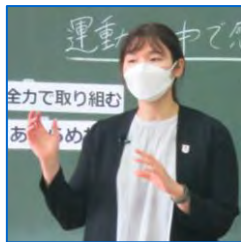
■アイスホッケー



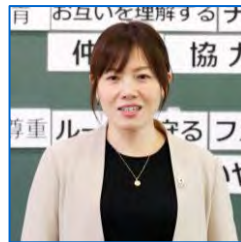
あおき かなえ
青木 香奈枝



おおさわ
大澤 ちほ



たけうち あいな
竹内 愛奈



ひらの ゆか
平野 由佳



やまね ともえ
山根 朋恵

■ボブスレー ・ボブスレー



さとう しんたろう
佐藤 真太郎



ながおか ちさと
長岡 千里



ひの まなみ
松野 真奈美



わきた としお
脇田 寿雄

・スケルトン



おぐち たかこ
小口 貴子



こむろ のぞみ
小室 希



ささはら ゆうき
笹原 友希



なかやま えいこ
中山 英子



みやじま かつゆき
宮嶋 克幸

■リュージュ



おぐち たかひさ
小口 貴久

■カーリング



もろずみ こうすけ
両角 公佑

■ バイアスロン



えびさわ だいすけ
蛸沢 大輔



めぐろ ひろなお
目黒 宏直

※2024年3月現在（計187名）

※競技掲載順は夏季及び冬季競技別にJOC加盟団体順の通り

過去実施例



**公益財団法人 日本オリンピック委員会
オリンピック・ムーブメント推進部**

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
Japan Sport Olympic Square内
TEL : 03-6910-5950 (代表)

JOCオリンピック教室運営事務局

株式会社AROUND内
〒104-0042 東京都中央区入船1-3-9 長崎ビル2F
TEL : 03-6228-3533 FAX : 03-3206-1374